

第5回（平成25年度第4回）瑞穂市廃棄物減量等推進審議会 議事録

1. 開催場所 瑞穂市巢南公民館 第1研修室
2. 開催日時 平成26年2月5日（水） 午後1時30分～午後3時10分
3. 出席委員 平田芳子（会長）、野田寧宏（副会長）、吉田愛子、関谷翠、長尾マツ子、眞鍋敏克、廣江重昭、清水一夫、恩田直樹 9名
4. 欠席委員 松波説夫、江間安男、片岡義典 3名  
(敬称略・順不同)
5. 事務局 鹿野政和（環境水道部部長）、伊藤巧（環境課課長）、佐藤彰道（環境課総括課長補佐）
6. その他出席者 一般廃棄物処理基本計画策定業務委託受託コンサルタント（一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター）蒲池謙治、豊田崇文
7. 傍聴者数 0名
8. 議題等
  - (1) 会長あいさつ
  - (2) 審議
    - ① パブリックコメントの結果報告について
    - ② 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の最終案について
    - ③ その他

9 会議の要旨

平田会長	会長あいさつ。 審議（1）パブリックコメントの結果報告について、事務局に説明を求める。
<b>【事務局 審議（1）について説明を行う。】</b>	
平田会長	ふれあい収集について考えていることまで回答して良いのか。まだ予算も取っていないしこれからこういうこともやってみたいということなのでは。予算要求はしているのですか。
事務局伊藤	予算要求はまだですが、計画書案の33ページNo. 16でふれあい収集を検討しますと記載しているので、このように回答案としています。
平田会長	審議会のなかでも高齢者に対する支援も考えていくということで、いろいろ提案は出ていましたが、即答するのは早すぎるのではないかと思う。

事務局佐藤	「実施します」のように限定した言い方ではないので事務局としてはこれで良いのかと思います。
平田会長	支援の施策を検討していますのでいいと思う。この答えは実施するという前提である。
事務局佐藤	「高齢者などの世帯を対象とした収集形態を検討します」が良いですか。
平田会長	行政の事務的には行き過ぎの回答ではないか。瑞穂市が問題なければよいが。持ち込みだけではなく高齢者を対象にした施策について検討していくという回答のほうがいいと思う。拠点回収は予算の面で厳しいと書いて、片方で高齢者に対してふれあい収集をやりますでは回答の一貫性がないように思う。 審議会の内容と市の考え方が異なっているような気がする。
野田副会長	高齢者が美来の森まで運搬していくのだが担当者の態度が悪い。もう少し丁寧な対応を。前はもう少し良かった。
平田会長	それも含めて改善していくことは審議会でも出ていた。
野田副会長	免許証の提示をさせられ、あっちにこっちにとわかりにくい。
平田会長	中途半端ですね。
関谷委員	人によって大きく異なる。良い日と悪い日がある。
平田会長	普通の人が行っても上手にわけられるような使い勝手の良いエコステーションに変えていかないといけない。やり方しだいできると思う。 粗大ごみの回収は利用されているのか。
事務局伊藤	1日多いときで10～15軒程度。
平田会長	粗大ごみでも家まで回収に行きますといってもなかなか利用が伸びていないというなかで今ある制度をもう少し見直すことも大事である。
事務局鹿野	粗大ごみの回収は連絡することがおっくうだとか、手数料が高くなるので利用が少ないかと思う。 ふれあい収集は福祉とタイアップして支援が必要な人に対して実施するので、行政から働きかけていく制度になる。推進員さんが中心になって広めていきたい。ふれあい収集について限定せず検討すると回答したほうが良い。
平田会長	収集費用についての理由はどうか。今回の計画では高齢者などニーズに答えた収集体制を考える、とかにしたほうが良い。
眞鍋委員	市役所の担当者だけで決めていくことは審議会のありかたではない。結果的にできるし、また望ましいということならそれでいい。

事務局鹿野	費用の面については削除し、「高齢者等の支援としてはいろんな諸施策を検討します」とします。
平田会長	行政で新しい施策に取り組んでいただくことは結構ですがちょっと早すぎると思います。新しい施策を作るのではなくて今ある制度をなぜ利用されないかを市民の目線で検討しながら新しい施策を考えてほしい。 審議（２）について説明を求める。
【事務局 修正は誤字のみとなり内容は前回と同じである。】	
平田会長	ごみ処理基本計画の内容としては最終案として承認して良いか。
全委員	異議なし。
平田会長	審議（３）（答申案）について説明を求める。
【事務局 事前送付の資料４について説明を行う。】	
平田会長	皆さんに論点を審議していただいたことをまとめてもらいました。うまくまとまっていると思います。 答申案について意見を求める。計画の中で来年度も取り組んでもらいたい要望などをお願いします。
吉田委員	美来の森も時間が限定されるので使い勝手が良いようにする。
平田会長	リサイクルセンターの整備、地域のステーションの両方が同時にいかないと進んでいかない。フリーマーケットなどはどうですか。
吉田委員	フリーマーケットに出てくる物が少なくなってきた。美来の森のPRにと始めたのだが。
平田会長	産業祭などとセットでフリーマーケットをやるとか、美来の森にこだわることはないかもしれない。今は若い人にニーズが多いのではないのか。
関谷委員	フリーマーケットは若い人が少なくなってきた。出店される方や興味を持っている方が少ない。中年以降の人が多い。
平田会長	子育ての支援サークルなどでやってもらえると若い人が行きやすいと思う。もっと子育て世代の方が参加できるようにしていくと良い。今後の課題になる。
長尾委員	会長さんがおっしゃるとおりです。市民の目線からしか回答ができない。ここでは勉強はさせていただいたと思います。できる限り地域の方と協力をしながら今やっている途中です。
平田会長	女性の会でも来年度、再来年度以降の事業の中にごみの問題についてもどのように取り組むかなど検討されると良いですね。
廣江委員	事業所から出る金属ごみについてはリサイクルが進んでいる。２月２７日から今まではマニフェストは紙でやっていたが電子マニフ

	<p>エストも導入している。トレイも回収している</p>
平田会長	<p>事業者さんの方もいろんな取り組みをしてもらっている。</p>
清水委員	<p>収集の立場として容器リサイクル法が始まってその他プラとか集めるようになったが、収集開始すぐは異物の混入が多かった。今でも協力してもらえぬ地域とそうでない地域がある。分別後に半分がごみになっていたときもあった。今後、陶器・ガラスの収集が始まるのだが、リサイクルできない物は住民さんが分からない物も持ってくる。不適物の混入対策の周知が必要。ガラスにびんが混入する場合がある。</p>
平田会長	<p>巢南で起きている問題点がまた穂積の方でも起きてくる。容器包装の分別を入れていくと自治体によって違うので教育が必要になると思う。</p>
恩田委員	<p>収集のときにできる範囲で説明します。  生津に作るリサイクル施設でフリーマーケットの場所は提供できません。  瑞穂市のリサイクル率を上げるのにも全面的に協力するつもりでいます。  6月竣工予定のリサイクル施設は、桑名の施設を参考にしている。自治会など古紙の回収に困っている方は連絡をもらえば取り行きます。粗大ごみは集めないが小型家電は集める。家具などの使える物はほしい方に譲るスペースを作る予定です。</p>
長尾委員	<p>共同住宅でテレビや冷蔵庫などを置いたままにして捨てていくため住宅のオーナーが自分でお金を出して処分しているらしい。アパートには不法投棄が多い。</p>
野田副会長	<p>マンションのごみ集積所は鍵がかかるようにしているが、近所の2軒からごみの投げ込みはあります。</p>
平田会長	<p>環境課に連絡してもらえばいいのか。</p>
事務局佐藤	<p>私有地のごみの不法投棄は行政で処分できないので、ひどい場合は警察に連絡してもらおうようお願いしています。</p>
長尾委員	<p>ごみステーションなどは市に連絡します。</p>
眞鍋委員	<p>スーパー等に出ることでリサイクル率が下がるのは悪いことではない。出し先が違うだけでリサイクルはされている。家庭としてはスーパーにだしても集団回収にだしても100%リサイクルしている。書き方とか表現の仕方が理解できないところがある。</p>
平田会長	<p>「スーパーでの店頭回収等を見越した適正な目標値に設定し直す」がわかりにくい。他のところで集めているのをリサイクル率に</p>

	算入していないので数値が悪いといっているのだが。
眞鍋委員	リサイクル率については、市の考え方と家庭の考え方とは違うのではないか。家庭としては100%リサイクルに出している。
事務局佐藤	26ページの(2)リサイクル率で今まで把握できなかった数値を市のリサイクル率に入れるようにするということが書かれている。
眞鍋委員	古紙に関しても100%に近いと思う。どこを基準にしてリサイクル率を考えるかが違う。
平田会長	古紙でも一般家庭では廃品回収やリサイクルに出しているが、人によっては毎日の新聞を燃えるごみに捨てる。新聞はためておいて廃品回収に出すという固定観念があるが、そうでない人もいる。田舎は家に資源を置く場所があるがアパート等は置けない。
眞鍋委員	傘は業者だと喜んで取りにくるが、瑞穂市は粗大ごみに有料で出している。資源回収は相場が関係する。
事務局鹿野	リサイクル率はすべてのごみの中で資源になったものなので、燃えるごみも入っているから100%にはならない。
平田会長	粗大ごみの袋は有効に活用されているか。違う物が入っていたりしないか。
事務局佐藤	それはあります。それは最終的には出す人個人のマナーの問題になる。
平田会長	粗大ごみ袋は何を入れていいのかわからない。
事務局佐藤	地区のステーションに出せないもので、陶磁器、ガラス、有害物以外は概ね入れていただいても結構です。 袋の口を閉めることが出来る範囲で入るもの、持てるものなら大丈夫です。袋に入らないものはシールで対応します。
恩田委員	粗大ごみ袋にはあらゆる物が入っています。
平田会長	計画ができた後に周知と教育が必要である。
事務局伊藤	新たな分別が始まると自治会など各種団体の協力が必要になりますので、よろしくお願いします。
平田会長	市民のリサイクルに対する意識は高い。
眞鍋委員	プリンター等は細かく切って燃えるごみに出してもいい。安いほうに出せばいい。
平田会長	ごみについては人それぞれ考え方が違うがそれを統一しようとするには市民の協力が必要になる。
眞鍋委員	電子部品と使って趣味としてやっているが粗大ごみのなかにほしい物があっても持って行ってはいけないといわれるが、どっちにし

	ても処分するならばいいのでは。
平田会長	岐阜市などは家具をきれいにして販売したりしているが、ここはそこまでっていない。譲ったりして便宜をはかることは後々ややこしくなり困るということだと思う。
眞鍋委員	冷蔵庫等いろんな物を集めて道のほうにもはみ出している状態で、本人も処分してほしいがお金がなく施設に入っている。市で処分できないか。
事務局佐藤	民有地のごみは所有権などの問題もあり、市としては処分ができません。
眞鍋委員	慈善事業としてやってもらえれば自治会としてもありがたい。
平田会長	金銭はかかるがリサイクルショップで持って行ってくれないものか。
眞鍋委員	冷蔵庫でもコンプレッサーはお金になる。
野田副会長	廃棄物減量推進員に手当ををだしてほしい。自治会の経費削減が大きいので委員がいなくて自治会長が兼任している場合が多い。97自治会のうち半数が一年交代だがやる人がいないので兼任している。市に希望額としては6千円から1万円。自治会が推進委員にお世話になるということで1万円出している。
平田会長	初めて聞きました。
長尾委員	出していない。
野田副会長	2点目リサイクル率の向上についてはスーパー、店頭回収等に市から数量だけもらえるような方法を検討して数量を把握してほしい。 3点目は基本計画の冊子は作られるのかをたずねたい。
事務局佐藤	冊子は作ります。本編の後に資料もつきます。パンフレットで概要版も作る予定です。
平田会長	答申案として承認してよいか。
全委員	異議なし。
平田会長	市長への答申は、会長、副会長の日程と市長さんの日程で調整してもらい、出席できる委員様は参加してもらおうという形で良いですか。
事務局伊藤	答申は2月24日の午前中を予定していますが、最終調整を行い再度ご連絡します。 委員の皆様の任期は2年間ありますので、来年度も協力をお願いします。
平田会長	閉会を宣する。